研修・研究・会議費

小計	21,000	円

領　収　書　等　貼　付　用　紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	

1－1

領　収　書

佐藤伸一郎　様

¥2,000－

但し、令和７年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和7年6月12日　上記の金額正に領収いたしました

住　所　神奈川県相模原市中央区中央２丁目１１番１５号
氏　名　小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会　長　中　村　昌　[redacted]

令和７年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総　　会

日　時　　令和７年８月８日（金）

午後５時００分から

会　場　　愛川町 文化会館　ホール

総　会　次　第

1　開　会

2　会長あいさつ

3　議長選出

4　議　案

議案第１号　令和６年度 活動報告
議案第２号　令和６年度 収支報告及び会計監査報告
議案第３号　役員の選任（案）
議案第４号　令和７年度 活動計画（案）
議案第５号　令和７年度 収支予算（案）
議案第６号　決議（案）

5　来賓あいさつ

6　祝電披露

7　閉　会

議案第１号

令和６年度　活動報告

月　日	活　動　内　容
５月　９日	**第１回役員会** ・令和６年度 総会について ・本年度の活動について
５月２４日	**総　会** ・令和５年度 活動報告 ・令和５年度 収支報告及び会計監査報告 ・役員の改選（案） ・令和６年度 活動計画（案） ・令和６年度 収支予算（案） ・決議（案）
１月２８日	**要望活動**（国土交通省）
１月３０日	**要望活動**（小田急電鉄㈱、国土交通省、神奈川県）
２月　５日	**研修会**（小田急多摩線延伸ルート（唐木田駅～上溝駅間）視察）
２月１９日	**要望活動**（東京都）
３月３１日	**第２回役員会** ・令和６年度 活動報告 ・令和６年度 収支決算報告 ・令和７年度 総会について

議案第２号

令和６年度　収支報告

＜　収　入　＞

（単位：円）

科　　目	予　算　額 (A)	収入済額 (B)	増　減　額 (B－A)	摘　　要
１会　　費	226,000	226,000	0	2,000円×113人
２繰　越　金	353,698	353,698	0	
３諸　収　入	302	208	△ 94	預金利子
計	580,000	579,906	△ 94	

＜　支　出　＞

（単位：円）

科　　目	予　算　額 (C)	支出済額 (D)	残　　額 (C－D)	摘　　要
１事業推進費	520,000	253,401	266,599	
（１）会議費	130,000	124,406	5,594	総会、役員会 経費　等
（２）活動費	390,000	128,995	261,005	要望活動、研修会 経費　等
２事　務　費	50,000	10,289	39,711	郵便料、事務用品購入費　等
３予　備　費	10,000	0	10,000	
計	580,000	263,690	316,310	

＜　差　引　＞

（収入済額）　（支出済額）　（次年度繰越額）

579,906円 － 263,690円 ＝ 316,216円

会計監査報告書

本議員連盟の令和６年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を監査したところ、適正に執行されていると認めます。

令和７年３月３１日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監　査　　大　槻　和　弘　[redacted]

監　査　　石　井　芳　隆　[redacted]

議案第３号

役員の選任（案）

役　職	職　名	氏　名
理　事	町田市議会議員	松　葉　ひろみ。
理　事	相模原市議会議長	大　槻　和　弘
理　事	相模原市議会副議長	西　家　克　己
会　計	相模原市議会議員	岡　本　浩　三
監　査	相模原市議会議員	古　内　　明
事務局	清川村議会議員	落　合　美　和

【参考】小田急多摩線延伸を促進する議員連盟　会則（抄）

（役　員）
第５条
２　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員の任期中において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

選任後の役員一覧（案）

役　職	職　名	氏　名
会　長	相模原市議会議員	中　村　昌　治
副会長	町田市議会議員	佐　藤　伸一郎
副会長	相模原市議会議員	大　沢　洋　子
副会長	厚木市議会議員	松　田　則　康
副会長	愛川町議会議長	井　出　一　己
副会長	清川村議会議員	城　所　英　樹
理　事	町田市議会議長	木目田　英　男
理　事	町田市議会議員	藤　田　　学
理　事	町田市議会議員	松　葉　ひろみ
理　事	町田市議会議員	佐　藤　和　彦
理　事	相模原市議会議長	大　槻　和　弘
理　事	相模原市議会議員	森　　繁　之
理　事	相模原市議会副議長	西　家　克　己
理　事	相模原市議会議員	こさわ　隆　宏
理　事	厚木市議会議員	川　口　　仁
理　事	厚木市議会議員	栗　山　香代子
理　事	厚木市議会議員	望　月　真　実
理　事	愛川町議会議員	阿　部　隆　之
会　計	相模原市議会議員	岡　本　浩　三
監　査	相模原市議会議員	古　内　　明
監　査	厚木市議会議員	石　井　芳　隆
事務局長	相模原市議会議員	渡　部　俊　明
事務局	町田市議会議員	三遊亭　らん丈
事務局	厚木市議会議員	田　口　孝　男
事務局	愛川町議会議員	岸　上　敦　子
事務局	清川村議会議員	落　合　美　和

議案第４号

令和７年度 活動計画（案）

「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則」に基づき、次の活動を行う。

令和７年度		令和６年度
実施時期	活動内容	実施状況
5月２８日(水)	第１回役員会	５月９日（木） 第１回役員会
8月８日(金)	総　会 (愛川町文化会館 ホール)	５月２４日（金） 総　会 （プロミティあつぎ 大ホール）
8月～１２月	要望活動 （国、都県、鉄道事業者）	１月２８日（火）、３０日（木） 国土交通省 １月３０日（木） 小田急電鉄㈱、神奈川県 ２月１９日（水） 東京都
8月～１２月	研修会等	２月５日（水） 研修会（延伸ルート視察）
3月下旬	第２回役員会	３月２９日（金） 第２回役員会

【参考】小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（事　業）
第３条　この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
（１）小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
（２）国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
（３）広報活動その他目的達成に必要な事業

議案第５号

令和７年度　収支予算（案）

＜　収　入　＞

（単位：円）

科　　目	本年度予算額（A）	前年度予算額（B）	増　減　額（A－B）	摘　　要
１ 会　　費	226,000	226,000	0	2,000円×113人
２ 繰　越　金	316,216	353,698	△ 37,482	
３ 諸　収　入	784	302	482	預金利子
計	543,000	580,000	△ 37,000	

＜　支　出　＞

（単位：円）

科　　目	本年度予算額（C）	前年度予算額（D）	増　減　額（D－C）	摘　　要
１ 事業推進費	480,000	520,000	△ 40,000	
（1）会議費	120,000	130,000	△ 10,000	総会、役員会 経費　等
（2）活動費	360,000	390,000	△ 30,000	要望活動、研修会 経費　等
２ 事　務　費	50,000	50,000	0	郵便料、事務用品購入費　等
３ 予　備　費	13,000	10,000	3,000	
計	543,000	580,000	△ 37,000	

議案第６号

決　議（案）

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からＪＲ横浜線相模原駅、ＪＲ相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

交通政策審議会答申第１９８号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

愛川・厚木方面への延伸について、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要である。

また、延伸の意義と同時に収支採算性等の課題が示されたことから、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの沿線において、需要の創出に繋がる開発を積極的に推進していく必要がある。

延伸の実現に向け、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められていることから、本議員連盟としても延伸の実現に向け、最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、粘り強く関係機関に積極的に働きかけるなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

令和７年８月８日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からＪＲ横浜線相模原駅、ＪＲ相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第１９８号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、【要望先】をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和７年　　月　　日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長　中村　昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からＪＲ横浜線相模原駅、ＪＲ相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第１９８号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和７年　　月　　日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長　中村　昌治

議案第６号　参考資料
（国土交通省（関東運輸局））

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からＪＲ横浜線相模原駅、ＪＲ相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第１９８号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関東運輸局をはじめとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和７年　　月　　日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長　中村　昌治

1　会　　則

2　顧問・参与名簿

3　会　員　名　簿

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟　会則

（名　称）

第１条　この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

（目　的）

第２条　この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

（事　業）

第３条　この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（１）小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携

（２）国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動

（３）広報活動その他目的達成に必要な事業

（組　織）

第４条　この会は、第２条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

（役　員）

第５条　この会に次の役員を置く。

（１）会　長　　１名

（２）副会長　　５名

（３）理　事　　若干名

（４）会　計　　１名

（５）監　査　　２名

（６）事務局長　　１名

（７）事務局　　４名

２　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員の任期中において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

３　会長は、会務を総括する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

５　監査は、この会の会計を監査する。

６　事務局長は、会務を掌理する。

７　事務局は、事務局長を補佐する。

8　会長は、必要に応じて、会長代行を置くことができる。

（顧問、参与及び相談役）

第６条　この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

（事務局）

第７条　この会に事務局を置く。

２　事務局は、会長の市町村に置く。

３　事務局は、第３条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

（経　費）

第８条　この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

２　会費は年額2,000円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

３　この会の会計年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月31日に終る。

但し、平成21年度においては、平成21年11月４日より翌年３月31日までとする。

（補　則）

第９条　この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

（附　則）

この会則は、平成21年11月４日から施行する。

（附　則）

この会則は、平成22年５月27日から施行する。

（附　則）

この会則は、平成24年５月23日から施行する。

（附　則）

この会則は、平成26年５月15日から施行する。

（附　則）

この会則は、平成28年５月27日から施行する。

（附　則）

この会則は、令和４年５月26日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟　顧問・参与名簿

役　職	職　名	氏　名	会　派
顧　問	衆議院議員	伊　藤　俊　輔	立憲民主党・無所属
顧　問	衆議院議員	あかま　二　郎	自由民主党・無所属の会
顧　問	衆議院議員	後　藤　祐　一	立憲民主党・無所属
顧　問	衆議院議員	大　塚　さゆり	立憲民主党・無所属
顧　問	衆議院議員	長　友　よしひろ	立憲民主党・無所属
顧　問	参議院議員	朝　日　健太郎	自由民主党
顧　問	参議院議員	生　稲　晃　子	自由民主党
顧　問	参議院議員	牧　山　ひろえ	立憲民主・社民
顧　問	参議院議員	松　沢　成　文	日本維新の会・教育無償化を実現する会
顧　問	参議院議員	浅　尾　慶一郎	自由民主党
顧　問	参議院議員	三　原　じゅん子	自由民主党
顧　問	参議院議員	三　浦　信　祐	公明党
顧　問	参議院議員	竹　内　真　二	公明党
参　与	東京都議会議員	藤　井　あきら	都民ファーストの会 東京都議団
参　与	東京都議会議員	星　　大　輔	東京都議会自由民主党
参　与	東京都議会議員	村　松　としたか	公明党
参　与	神奈川県議会議員	佐々木　正　行	公明党神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	てらさき　雄　介	立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	河　本　文　雄	自由民主党神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	細　谷　政　幸	自由民主党神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	京　島　けいこ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	山　口　美津夫	自由民主党神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	小　田　貴　久	かながわ未来神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	阿　部　将太郎	日本維新の会神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	さとう　知　一	日本維新の会神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	佐　藤　けいすけ	かながわ未来神奈川県議会議員団
参　与	神奈川県議会議員	難　波　達　哉	自由民主党神奈川県議会議員団

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟　会員名簿

No.	職　名	氏　名	会　派
1	町田市議会議長	木目田　英　男	選ばれる町田をつくる会
2	町田市議会副議長	お　く　栄　一	公明党
3	町田市議会議員	吉　田　つとむ	無所属
4	町田市議会議員	佐　藤　伸一郎	自由民主党
5	町田市議会議員	藤　田　　学	自由民主党
6	町田市議会議員	熊　沢　あやり	諸派
7	町田市議会議員	若　林　章　喜	選ばれる町田をつくる会
8	町田市議会議員	三遊亭　らん丈	自由民主党
9	町田市議会議員	いわせ　和　子	選ばれる町田をつくる会
10	町田市議会議員	山　下　てつや	公明党
11	町田市議会議員	戸　塚　正　人	まちだ市民クラブ
12	町田市議会議員	松　岡　みゆき	無所属
13	町田市議会議員	佐　藤　和　彦	まちだ市民クラブ
14	町田市議会議員	白　川　哲　也	選ばれる町田をつくる会
15	町田市議会議員	森　本　せいや	まちだ市民クラブ
16	町田市議会議員	石　川　好　忠	自由民主党
17	町田市議会議員	松　葉　ひろみ	公明党
18	町田市議会議員	おぜき　重太郎	諸派
19	町田市議会議員	小野寺　まなぶ	公明党
20	町田市議会議員	秋　田　しづか	諸派
21	町田市議会議員	加　藤　真　彦	自由民主党
22	町田市議会議員	中　川　幸太郎	諸派
23	相模原市議会議長	大　槻　和　弘	自由民主党相模原市議団
24	相模原市議会副議長	西　家　克　己	公明党相模原市議団
25	相模原市議会議員	加　藤　明　徳	公明党相模原市議団
26	相模原市議会議員	須　田　　毅	自由民主党相模原市議団
27	相模原市議会議員	大　沢　洋　子	立憲民主党
28	相模原市議会議員	中　村　昌　治	自由民主党相模原市議団
29	相模原市議会議員	阿　部　善　博	自由民主党相模原市議団
30	相模原市議会議員	栗　原　　大	立憲民主党
31	相模原市議会議員	寺　田　弘　子	自由民主党相模原市議団

No.	職　名	氏　名	会　派
32	相模原市議会議員	古　内　　明	自由民主党相模原市議団
33	相模原市議会議員	森　　繁　之	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
34	相模原市議会議員	桜　井　はるな	立憲民主党
35	相模原市議会議員	大　崎　秀　治	公明党相模原市議団
36	相模原市議会議員	関　根　雅吾郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
37	相模原市議会議員	臼　井　貴　彦	立憲民主党
38	相模原市議会議員	鈴　木　秀　成	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
39	相模原市議会議員	後　田　博　美	公明党相模原市議団
40	相模原市議会議員	渡　部　俊　明	自由民主党相模原市議団
41	相模原市議会議員	石　川　　達	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
42	相模原市議会議員	南　波　秀　樹	公明党相模原市議団
43	相模原市議会議員	羽生田　　学	無所属
44	相模原市議会議員	鈴　木　晃　地	日本維新の会相模原市議団
45	相模原市議会議員	佐　藤　尚　史	自由民主党相模原市議団
46	相模原市議会議員	岡　本　浩　三	公明党相模原市議団
47	相模原市議会議員	秋　本　　仁	自由民主党相模原市議団
48	相模原市議会議員	大八木　　聡	自由民主党相模原市議団
49	相模原市議会議員	中　村　忠　辰	公明党相模原市議団
50	相模原市議会議員	折　笠　正　治	自由民主党相模原市議団
51	相模原市議会議員	三　須　城太郎	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
52	相模原市議会議員	榎　本　揚　助	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
53	相模原市議会議員	今　宮　ゆうき	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
54	相模原市議会議員	仁　科　なつ美	立憲民主党
55	相模原市議会議員	松　浦　千鶴子	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
56	相模原市議会議員	保　々　富美子	公明党相模原市議団
57	相模原市議会議員	萩生田　康　治	自由民主党相模原市議団
58	相模原市議会議員	山　口　　恒	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら
59	相模原市議会議員	小　林　たかみち	無所属
60	相模原市議会議員	岩　井　　大	日本維新の会相模原市議団
61	相模原市議会議員	こさわ　隆　宏	日本維新の会相模原市議団
62	相模原市議会議員	務　川　　慧	自由民主党相模原市議団
63	相模原市議会議員	谷　川　ヒロシ	民主みらい・無所属・地域政党さがみはら

No.	職　名	氏　名	会　派
64	相模原市議会議員	西　田　悠　人	自由民主党相模原市議団
65	厚木市議会議長	遠　藤　浩　一	公明党
66	厚木市議会副議長	髙　橋　知　己	新政あつぎ
67	厚木市議会議員	松　田　則　康	あつぎみらい
68	厚木市議会議員	石　井　芳　隆	きずな
69	厚木市議会議員	寺　岡　まゆみ	公明党
70	厚木市議会議員	川　口　　仁	公明党
71	厚木市議会議員	神　子　雅　人	ネクストあつぎ
72	厚木市議会議員	栗　山　香代子	無会派
73	厚木市議会議員	井　上　　武	きずな
74	厚木市議会議員	名　切　文　梨	あつぎの会
75	厚木市議会議員	松　本　樹　影	あつぎみらい
76	厚木市議会議員	渡　辺　貞　雄	あつぎみらい
77	厚木市議会議員	瀧　口　慎太郎	ネクストあつぎ
78	厚木市議会議員	田　口　孝　男	ネクストあつぎ
79	厚木市議会議員	山　﨑　由　枝	公明党
80	厚木市議会議員	髙　橋　　豊	ネクストあつぎ
81	厚木市議会議員	望　月　真　実	新政あつぎ
82	厚木市議会議員	髙　村　真　和	新政あつぎ
83	厚木市議会議員	奈　良　直　史	ネクストあつぎ
84	厚木市議会議員	髙　田　昌　慶	あつぎの会
85	厚木市議会議員	山　口　保　子	ネクストあつぎ
86	厚木市議会議員	堀　江　克　己	ネクストあつぎ
87	厚木市議会議員	小　島　まさひろ	あつぎ一新
88	厚木市議会議員	白　川　美作江	公明党
89	厚木市議会議員	いわさき　かずや	あつぎ一新
90	厚木市議会議員	高　橋　伸　也	あつぎの会
91	厚木市議会議員	津　森　英里花	無会派
92	愛川町議会議長	井　出　一　己	公明党
93	愛川町議会副議長	山　中　正　樹	愛川の新時代
94	愛川町議会議員	井　上　博　明	日本共産党愛川町議員団
95	愛川町議会議員	小　島　総一郎	令和あいかわ

No.	職　名	氏　名	会　派
96	愛川町議会議員	小　林　敬　子	日本共産党愛川町議員団
97	愛川町議会議員	渡　辺　　基	愛川の新時代
98	愛川町議会議員	佐　藤　り　え	公明党
99	愛川町議会議員	鈴　木　信　一	日本共産党愛川町議員団
100	愛川町議会議員	岸　上　敦　子	公明党
101	愛川町議会議員	阿　部　隆　之	令和あいかわ
102	愛川町議会議員	茅　　孝　之	令和あいかわ
103	愛川町議会議員	花　上　　功	愛川の新時代
104	愛川町議会議員	熊　坂　健太郎	愛川の新時代
105	愛川町議会議員	茅　　大　夢	愛川の新時代
106	清川村議会議長	細　野　賢　一	自由民主党
107	清川村議会副議長	細　野　洋　一	無所属
108	清川村議会議員	川　瀬　正　行	無所属
109	清川村議会議員	笹　原　和　織	無所属
110	清川村議会議員	城　所　英　樹	無所属
111	清川村議会議員	落　合　美　和	無所属
112	清川村議会議員	小　林　大　介	無所属
113	清川村議会議員	岩　澤　一　幸	無所属

領収書等貼付用紙

研修・研究・会議費	頁小計	3,000 円	備考	

領収証

藤田学様　7年4月26日

★ 3,000－

但 2025年 会費一年分

上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

コクヨ　ウケ-1048

〒195-0064 東京都町田市小野路町950番地
町田地方史研究会
会長 小島政孝
TEL 042-736-8777
FAX 042-735-0104

2－1

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

町田地方史研究会　入会のしおり

町田地方史研究会会長　小島政孝

☆活動内容

町田地方史研究会は、一九七二（昭和四七）年一〇月に設立されました。会員の研究誌である「町田地方史研究」は、現在までに二六号まで出版されています。会誌二〇号は、「町田市制五〇周年記念・横浜線開通一〇〇周年記念特集号です。また、二〇〇五年には、町田市域に関わる古代から昭和期にいたる人物四五六名を掲載した『町田歴史人物事典』を町田地方史研究会編で出版しました。

当会はこれまでに、講演会、歴史講座、古文書解読講座、歴史散歩など多くの活動を行っています。春と秋の歴史散歩と八月に歴史講演会を行ってきました。（現在は、コロナで活動を自粛しています。）会員の特典として、会誌のバックナンバー、三号～二五号までを五割引でお分けします。送料は一冊二百円、二冊以上は、四百円です。

現在、『町田の地名　南地区』を出版しました。さらに研究を進め、町田市全域を出版する予定です。

会誌は、年一回発行予定で、その代金は会費に含まれます。

町田地方史研究会は、どなたでも入会できます。皆様の御入会を歓迎致します。

☆入会申込み方法

入会申込み書にご記入の上、会費三〇〇〇円を添えて、事務局へお申込み下さい。

会計年度は、四月一日～翌年三月三一日までです。

〒１９５－００６４　町田市小野路町９５０　町田地方史研究会事務局

電話（留守電）　０４２－７３６－８７７７

ＦＡＸ　０４２－７３５－０１０４

メールは、小島資料館　で検索するとホームページが表示され、明記されています。

２０２５（令和７）年度

町田地方史研究会講演会・総会

日時：2025年4月26日(土) 13時30分～16時40分 場所：町田商工会議所2階会議室
受付：13時10分

第１部　講演会　　13時30分～15時30分

司会	町田地方史研究会	副会長 大塚　信彰
挨拶	町田地方史研究会	会 長 小島　政孝
講師紹介	町田地方史研究会	副会長 矢口　昇

・講師　　町田地方史研究会役員　駒田　和幸 氏

・演題『昭和天皇の陸軍士官学校行幸と町田』

・講演 90分　　質疑応答 15分

閉会挨拶　　副会長 重政文三郎

第２部　総会　　15時40分～16時30分

司会・開会の言葉　　事務局次長　　増山　正子

黙祷　田井　秀　2024年11月8日没　81歳、冨永春芳　2025年2月12日没　74歳
　　河合秀二郎　2025年2月25日　90歳

１．会長挨拶			小島　政孝
２．議長選出			
３．議題			
議案１	令和6年(2024)事業報告	事務局長	荒井　仁
議案２	令和6年(2024)会計報告	事務局長	荒井　仁
〃	令和6年(2024)監査報告	会計監査	安川　一平
議案３	令和7(2025)度事業計画(案)	事務局次長	石井　一郎
議案４	令和7(2025)度会計予算(案)	事務局次長	石井　一郎
４．閉会の言葉		副会長	矢口　昇

第３部　懇親会　　17時00分～19時00分

場所　とりよし(町田市原町田6-9-18　TNスクウェアビル４階　Tel. 050-3033-7063)

司会・進行(開会の辞)	副会長	重政文三郎
挨拶	会長	小島　政孝
乾杯	市議会議長	木目田英男
懇談		
閉会挨拶	副会長	大塚　信彰

議案１　令和６年(2024)度事業報告(令和６年４月１日～令和７年３月31日)

１．定例役員会(事務局)

(1)毎月第１金曜日開催

①会場　町田中央図書館、町田市生涯学習センター、文学館ことばらんど等

②事務局　司会進行、記録等作成、歴史散歩・講演会等のチラシ印刷等

２．会誌『町田地方史研究』(編集委員会)

・第30号　2025年３月１日発行

３．町田地方史研究会報(事務局)

・第51号　2025年３月30日発行

４．歴史散歩(企画委員会)

(1)歴史散歩(春)

場所「上野周辺(湯島～千駄木)を辿る」(2024年５月11日)

講師　町田地方史研究会役員

(2)歴史散歩(秋)

秋に地名講座を実施したため、実施しなかった。

５．講演会

○共催　町田市生涯学習センター・町田地方史研究会(８月24日)

講演　「古代人の生と死　―鶴見川流域の遺跡から」

講師　坂本　彰　氏(元港北ニュータウン埋蔵文化財調査団員)

場所　生涯学習センター7階ホール

募集　まちだ広報　７月１日で募集、参加者60名

○生涯学習センターとの共催の地名講座(当初計画になかった)

1	11月２日	図師・上下小山田・木曽・山崎村の地名とパネルデスカッション	小島政孝、重政文三郎、矢口　昇、荒井　仁	55名	忠生市民センター
2	11月16日	南地区地名の講演会とシンポジューム	矢口　昇、小島政孝重政文三郎、鈴木　忠	45名	南市民センター
3	11月30日	原町田の地名と本町田の歴史講演会	小島　政孝	59名	健康福祉会館

６．40周年記念事業「町田の地名」編集委員会の開催(３月18日第193回実施済)

編集委員会毎月２回開催(毎月第１金曜日と月１回火曜日開催)

「町田の地名」鶴川地区　小野路／野津田／大蔵／真光寺／広袴／能ヶ谷

金井／三輪

講演会・歴史散歩等の計画と実施の検討、金井村最終原稿まで進捗。

7．古文書講座

定員人数 30 名　受講料　会員　2,000 円　　一般　3,000 円

会場　町田商工会議所　2 階　会議室　定員 30 人、土曜日、10 時～12 時

○5 回の演題と講師等

1	6 月 1 日	「天明の飢饉　町田では」	重政文三郎氏	15 名
2	6 月 15 日	「高ヶ坂村の秣場騒動」	矢口　昇氏	8 名
3	6 月 29 日	「二つの関所と村人の通行について」	高橋多恵子氏	10 名
4	7 月 13 日	「能ヶ谷村の秣場騒動」	荒井　仁氏	8 名
5	7 月 27 日	「新選組の書簡を読む」	小島政孝氏	13 名

8．その他

（1）『新町田市史』発行促進の請願

町田地方史研究会は、東京町田ペンクラブ・まちだ史考会と町田市史編纂事務局早期設置の請願を提出の準備検討。

議案２　令和 6 年(2024)度会計報告(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

別　紙　　P　5

議案３　令和 7 年(2025)度事業計画(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

1．定例役員会(事務局)

毎月第 1 金曜日開催

①会場　町田中央図書館、町田市生涯学習センター、文学館ことばらんど等

②事務局　司会進行、記録等作成、歴史散歩・講演会等のチラシ印刷

2．会誌『町田地方史研究３１号』(編集委員会)

第一次原稿〆切　１０月末日

令和 7 年(2025)12 月 31 日発行予定

3．町田地方史研究会報(事務局)

第 52 号令和 7 年(2025)9 月 30 日発行　　第 53 号令和 8 年 3 月 1 日発行

4．歴史散歩(企画委員会)

1　春の歴史散歩

５月１０日　(日の出町大久野　上羽生家)　　秋 10 月頃能ヶ谷町

講師　町田市民文学館館長・羽生家ご子孫　羽生　謙五氏　町田地方史研究会会員

2　秋の歴史散歩

１０月　町田市能ケ谷町

５．講演会

共催　町田市生涯学習センターと日野市立新選組のふるさと歴史館と
　　町田地方史研究会

時期　7月27日9時～11時30分　　場所　町田市民フォーラム

講演　「新選組のふるさと」　　定員　１８０名

　　～新選組について中学生、高校生対象に解り易く説明～

講師　日野市立新選組のふるさと歴史館　学芸員　松下　尚

６．40周年記念事業「町田の地名」編集委員会の開催

編集委員会毎月開催　（毎月第１金曜日と月１回火曜日開催）

「町田の地名　鶴川地区」を編集

７．古文書講座

定員 30名　受講料　会員　1,000円　　一般　2,500円

会場　町田商工会議所　2階　会議室　、土曜日、13時～15時30分

1	6月7日	「関東取締出役と捕物・大山博奕一件」	小島　政孝氏
2	6月14日	「相州小山村剛賊捕り物一件」	佐々木庸夫氏
3	7月5日	「幕末横浜開港と町田のようす」	重政文三郎氏
4	7月19日	「能ヶ谷村と岡上村の堰場出入一件」	荒井　仁氏
5	7月26日	「高ヶ坂祥雲寺の御朱印地」	矢口　昇氏

８．　『新町田市史』発行促進の請願

町田地方史研究会は、東京町田ペンクラブ・まちだ史考会と町田市市議会へ「町田市史編纂事務局」早期設置の請願を提出する。

９．　その他

議案４　令和７年(2025)度会計予算(令和７年４月１日～令和８年３月31日)

別　紙　　Ｐ　６

議案２　令和６年(2024)度　会計報告案（令和6年４月１日～令和7年３月31日）

収入の部

摘　要	予算	令和６年	差額	
前年度繰越金	799,958	799,958	0	
会費	180,000	219,000	39,000	73名
書籍売上	400,000	366,471	△33,529	会誌・「町田の地名」２種
事業費	50,000	28,500	△21,500	
寄付金	0	5,000	5,000	
利息	2	148	146	
合計	1,429,960	1,419,077	△10,883	

支出の部

摘　要	予算	令和６年	差額	
事業費	100,000	82,300	△17,700	講師謝礼　レジメ代
事務費	50,000	46,854	△3.144	「町田の地名」編集コピー代
通信費	60,000	66,361	6,361	切手・送料
印刷代	600,000	523,050	△76,950	会誌30号200部　　忠生地区600部
郵便振込手数料	1,000	0	△1,000	
慶弔費	0	10,000	10,000	
予備費	618,960			
合計	1,429,960	728,565		

収入１、４１９、０７７　－　支出７２８，５６５　＝　６９０，５１２

繰越金の内訳　　現金　　２７０，４２３円

郵便振替　２０２，８７９円

銀行預金　２１７，２１０円　　町田市農協　鶴川支店

６９０，５１２円を次年度会計へ繰越金とします。

会計　鈴木　忠　　㊞

令和６年度　町田地方史研究会　会計監査報告

令和６年４月１日から令和７年３月３１日までの令和６年度の会計を詳細に監査した結果、すべて適正であることを認めます。

令和７年４月25日

会計監査　　今福　克保　　㊞

会計監査　　安川　一平　　㊞

議案４　令和７年(2025)度　会計予算案

（令和7年４月１日～令和8年３月３１日）

収入の部

摘　要	予算	
前年度繰越金	690,512	
会費	180,000	60名
書籍売上	100,000	会誌ほか
事業費	50,000	古文書講座・歴史散歩
利息	80	
合計	1,020,592	

支出の部

摘　要	予算	
事業費	100,000	講師謝礼　レジメ代
事務費	50,000	「町田の地名」編集コピー代ほか
通信費	60,000	切手・送料
印刷代	200,000	会誌31号
予備費	610,592	
合計	1,020,592	

会計　鈴木　忠

研修研究・会議費 **領収書等貼付用紙**

~~調査活動費(燃料費)~~	頁小計	5,000 円	備考	

領収証 No.

藤田学 様 令7年4月27日

★5,000円也

但 年会費

上記正に領収いたしました

町田市書道連盟
会計 中島永岳

内訳
税抜金額
消費税額(%)
税抜金額
消費税額(%)

高沢克

登録番号

GR098323

2-2

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

令和７年度

定　期　総　会

令和７年４月２７日（日）

町 田 市 書 道 連 盟

【 総 会 次 第 】

出席者　　名
委任状　　名
会議の設立　計　　名

令和７年４月27日現在（会員総数　　名）

（司　会）漆畑

１、開会の辞	次長	渋谷
２、会長挨拶	会長	宮本
３．議長選出		
４、議事		
（１）令和６年度事業報告	事務局長	齊藤
（２）令和６年度決算報告	会計	高澤
（３）監査報告	会計監査	後藤、渡部
（４）令和６年度役員解任／挨拶	会長	宮本
（５）令和７年度役員選出	役員選考委員長	
（６）新役員の承認		
新会長挨拶	新会長	宮本
（７）令和７年度事業計画（案）	事務局長	齊藤
（８）令和７年度収支予算（案）	会計	高澤
５、議長解任		
６、閉会の辞	副会長	齊藤

議案1

令和６年度事業報告

事　業　名	会　　期	備　　考
まちださくらまつり		不参加
令和６年度 第64回定期総会	4／21（日）	生涯学習センター（109）６階学習室 １、２室　11時～12時30分
研修旅行		中止
第64回 町田市書道連盟展	9／3（火） ～9／8（日）	町田市民ホール4Fギャラリー 出品数３６点　入場者数２３１名
秋の文化祭 「町田市民文化祭」	10／30（水） ～11／1（金）	出品数３７点　入場者数７６０名
第64回 小・中学生書初展	令和７年 1／11（土） ～1／12（日）	町田市民ホール4Fギャラリー 出品数４６６点 入場者数１，００２名 書初審査会　1／5（日） 書初表彰式1／12（日）３時から
第50回 春の文化祭 「町田市民美術展」	2／22（土） ～3／2（日） 3／5（水）搬出	国際版画美術館　書道連盟・美術協会 入場者数（５，０３４名） 書道部門　出品数７９点
令和６年４月１日～令和７年３月31日		執行部会６回 役員会６回 各専門委員会及び事務作業４回 四役会１回 役員選考委員会１回
会計監査　令和７年３月30日		

令和６年度　町田市書道連盟 収支決算書

議案２・３

令和６年４月１日 ～ 令和７年３月31日　(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	対予算増減	摘要
繰越金	393,263	393,263	0	前年繰越金
年会費	250,000	265,000	15,000	会員増
事業収入	600,000	787,800	187,800	連盟展・文化祭 182,000 書初展 605,800
雑収入	0	50,250	50,250	(一財)町田市文化 ・国際交流財団
合計	1,243,263	1,496,313	253,050	

支出の部

科目	予算額	決算額	対予算増減	摘要
総会費	50,000	37,467	△12,533	資料作成　送付料　他
事務会議費	200,000	163,031	△36,969	役員会議費 印刷代 通信費 消耗品 他
事業費	650,000	608,297	△41,703	連盟展・文化祭 142,810 書初展 465,487
交際費	70,000	43,973	△26,027	文化協会費 新年会費 他
慶弔費	50,000	15,880	△34,120	香典
予備費	223,263	0	△223,263	
繰越金	0	627,665	627,665	次年度繰越金
合計	1,243,263	1,496,313	253,050	

上記の通り決算書をもってご報告致します

会長　宮本博志

会計　髙澤麒峰

同　　中島永岳

令和６年度決算において関係書類及び帳簿、現金 預金通帳を監査の結果適正であると認めます

令和７年３月31日　　会計監査　後藤恵心

同　渡部竹峯

議案 4, 5、6

令和７年度　役員（案）

顧　問	小倉將信	星　大輔	敬称略・順不同
相談役	水田芳美		
参　事	川村徑苑	貝住蘭恵	

会　長	宮本博志		
副会長	土屋玉祥	齊藤千尋	
副会長兼事務局長	齊藤千尋		
次　長	漆畑緋水	宮本文子	
会　計	中島永岳	渋谷芳草	
庶　務	後藤恵心	髙澤麒峰	
	山田凌華	渡部竹峯	

理　事	石塚千遥	藤根愛香		
評議員	岡部瑛心	髙尾鴻萌	徳山登志子	
	无　空子	加藤雄大		

会計監査	後藤恵心	渡部竹峯

〈文化協会出向〉

評議員	宮本博志	齊藤千尋	漆畑緋水	宮本文子

議案7

令和7年度事業計画（案）

事　業　名	会　　期	備　　考
まちださくらまつり	令和7年 3／29（土） ～3／30（日）	中止
令和7年度 第65回定期総会	4／27（日）	会場　せりがや会館第一会議室 午前10：00～
研修旅行	9月下旬予定	
第65回 町田市書道連盟展	9／2（火） ～9／7（日）	会場：町田市民ホール
令和7年度 秋の文化祭 「町田市民文化祭」	11／1（土） ～11／3（火）	会場：町田市民ホール 主催　（一社）町田市文化協会 文化祭実行委員会
第65回 小・中学生書初展	令和8年1／10 （土）～1／11（日）	町田市民ホール 作品搬出後新年会　予定 1／4（日）書初審査会 表彰式1／11（日）第4会議室　予定
令和7年度 第51回 春の文化祭 「町田市民美術展」	令和8年2／28 （土）～3／8（日）	国際版画美術館 書道連盟・美術協会・文化協会 搬出3／11（水）
会計監査　令和8年3月31日		

令和７年度　町田市書道連盟 予算書(案)

議案8

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	摘要
繰越金	627,665	
年会費	270,000	会員会費 250,000　(50名) 賛助会費 20,000
事業収入	746,000	連盟展 120,000　(3,000×40)文化祭 80,000 (2,000×40) 書初展 546,000　(1,300×420)
雑収入	50,000	(一財)町田市文化・国際交流財団
合計	1,693,665	

支出の部

科目	予算額	摘要
総会費	50,000	総会費用
事務会議費	200,000	会議費　通信費　印刷費　郵税 消耗品費　他
事業費	650,000	連盟展 100,000 文化祭 50,000 書初展 500,000
交際費	70,000	文化協会費 他
慶弔費	50,000	香典 見舞金
予備費	673,665	
合計	1,693,665	

令和６年度　　会員移動

敬称略

〈 入 会 〉

① 奥山嘉秋
② 永山紅心
③ 村上由美子
④ 加藤雄大

〈 退 会 〉

① 木村蒼秀
② 関仙桃
③ 福原紅月

町田市書道連盟入会申込書

令和　　年　　月　　日

氏　　名	(雅号)
所属する団体	団体
塾　　名	
現 住 所	〒
電話番号	
FAX	
入会年月日	

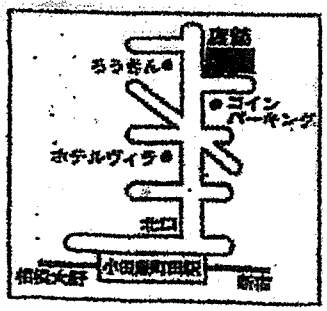
町田市書道連盟案内

昭和３６年８月に創立し、今年で６５年の歴史を迎えます。会員百余名を擁する団体です。永年の伝統の中で培われた、しっかりした組織と和の精神で、なごやかに運営されています。会員はそれぞれ異なった会派の出身なので作品は多彩で、相互に研鑽を積んでいます。催しの内容としては、◎書道連盟展【連盟会員、塾生、市内在住・在勤者による】　作品は、伝統的な漢字・仮名・現代書他・篆刻統　　◎書初展【小中学生】　文字を正しく整えて書こうとする能力・態度を育てる事に目標を置き、「文字を書く」事で新しい世界が広がるよう指導します。　◎市民美術展【書道連盟・美術協会】　の２団体による作品展です。主な会場　＊　国際版画美術館・町田市民ホール　　◎研修旅行　　◎さくら祭り　等が年中行事です。

町田市書道連盟会長　宮　本　博　志

問い合わせ先　☎　fax　０４２－７２５－２３６７　（事務局　齊藤）

書道用品
額
装　軸
表　装



営業時間　AM10:00～PM6:00
定休日　毎日曜日　祝祭日　第3土曜日

(株)町田裕養堂
〒194-0021
町田市原町田1-33-18-101
TEL 725－4700
FAX 720－0203

―印刷のことならお気軽にご相談ください―
八昭印刷株式会社
TEL 042-725-8821 FAX 042-723-8899
URL https://www.hasho.co.jp/

領収書等貼付用紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考	

領収書

藤田学 様

¥2,000—

但し、令和7年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和7年6月12日 上記の金額正に領収いたしました

住所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号
氏名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村昌治 [redacted]

令和７年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総　　会

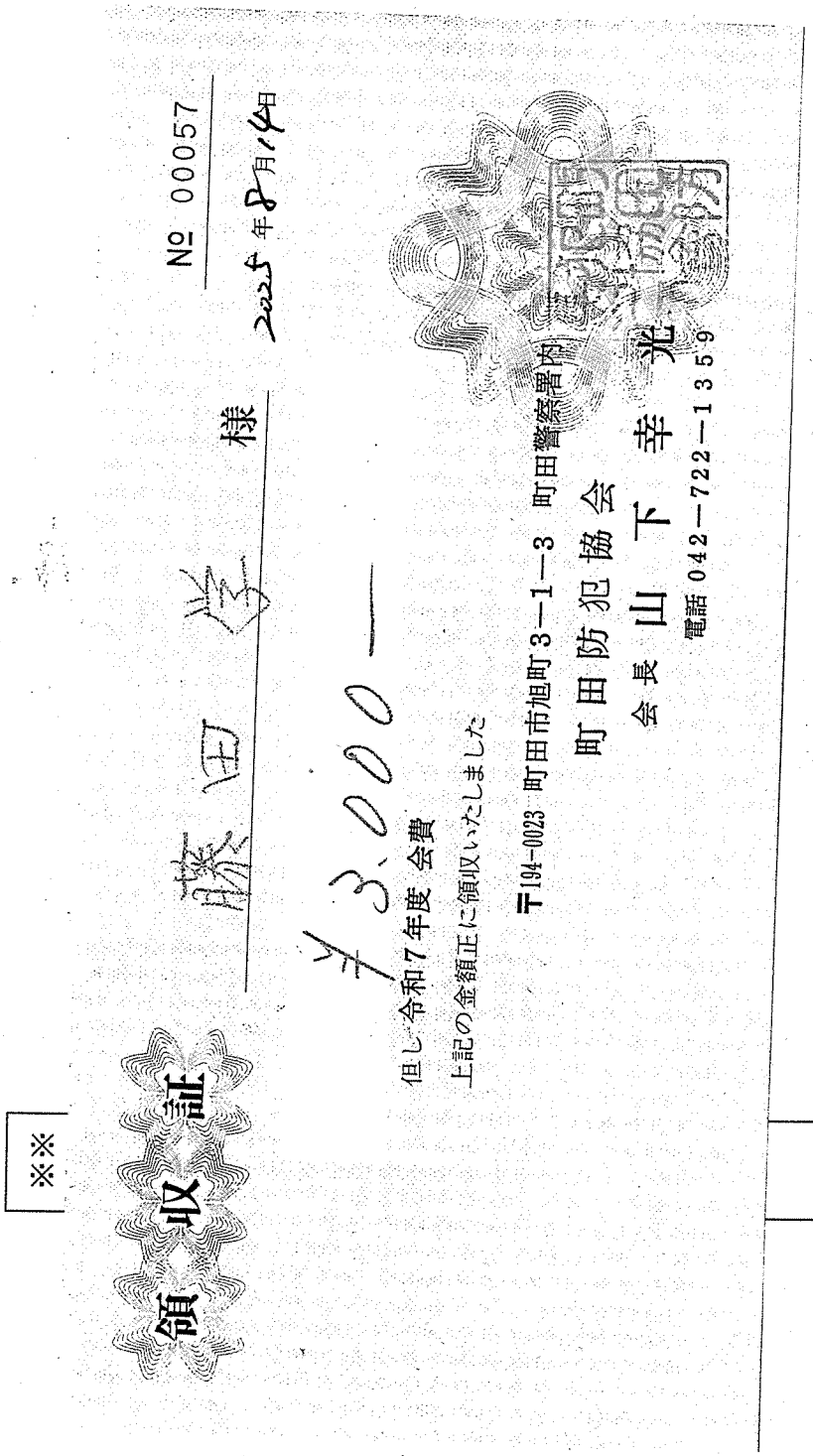
日　時　　令和７年８月８日（金）

午後５時００分から

会　場　　愛川町 文化会館　ホール

領　収　書　等　貼　付　用　紙

研修・研究・会議費	頁小計	3000 円	備考	



2−4

令和７年度

定　期　総　会

開催日　　令和７年５月２９日(木)
　　午後４時３０分より

場　所　　レンブラントホテル東京町田
　　地下１階珊瑚の間

《定期総会出席者は、この資料をご持参下さい》

町田防犯協会

令和７年度　定期総会

式　次　第

司会　　矢尾板　副会長

一　開　　会　　信　田　副会長

一　会長挨拶　　山　下　会　長

一　議長選出

一　議　　事

第１号議案	令和６年度事業報告	上　原	副会長
第２号議案	令和６年度会計決算	小　林	会計
	及び会計監査報告	五十子	監査
第３号議案	令和７年度事業計画(案)	信　田	副会長
第４号議案	令和７年度予算(案)	小　林	会計
第５号議案	会則の改正について（案）	山　下	会長

一　議長解任

一　閉　　会　　吉田　副会長

会員の皆様方には、日頃から防犯協会全般の活動にご尽力を賜り感謝申し上げます。

元旦に発生した「能登半島沖地震」に驚き、自然災害の恐ろしさを目の当たりにし「防犯」や「防災」の大切さを再認識させられました。

災害や犯罪は予告なしにやってきますが犯罪は予防出来ます。相変わらず特殊詐欺、窃盗（侵入盗）犯罪等の発生は、増加傾向にありました。特に詐欺被害はＳＮＳを利用した匿名・流動型犯罪グループによる組織的な強盗事件が発生しました。

カードを預かって現金を引き出したり還付金を名目に機械の操作によって金を騙し取る被害が多く、高齢者を狙ったアポ電が絶えません。

電話による巧妙な手口は、海外に拠点を設けて電話攻勢をかける一味が摘発されています。

町田市内の詐欺被害は、殆どの人が安易に「電話」に出て騙されています。「必ず留守電で対応し、電話に出ない。」孫や娘、息子を名乗る者には逆に電話して確認して下さい。

当防犯協会は町田警察署に協力し、「青年部による広報活動」や「各支部のイベント活動」を通じ、防犯意識の高揚と広報活動を実施致しました。

都内でも町田市は、特殊詐欺被害が多いとの不名誉を挽回するためにも当協会は一丸となって町田市・町田警察署に協力し、１件でも特殊詐欺被害を無くす活動を続けて参ります。

令和７年度も会員皆様のご理解とご協力を得て、防犯広報・啓発活動を強力に推進し「安全安心な街・町田」を目指しましょう。

決議事項

第１号議案　令和６年度事業報告

第２号議案　令和６年度会計決算及び会計監査報告

第３号議案　令和７年度事業計画(案)

第４号議案　令和７年度予算(案)

第５号議案　内規の改正について(案)

第１号議案

令和６年度　事業報告

令和６年度の防犯活動につきましては、前年度に比較してコロナ禍の影響が薄れたとはいえ、街頭におけるイベントやキャンペーン活動よりチラシ・パンフレット等の作成配布(郵送)活動が主になりました。

今年は特に「匿流」と呼ばれる匿名性の高い流動的な「闇バイト」と呼ばれるツールから集まった集団による犯罪が多発しました。架け子、受け子、出し子等、全く面識のない若者による携帯電話による指示で犯罪を敢行する大胆な手口が大半です。益々巧妙化する傾向にあります。

窃盗や特殊詐欺犯罪については、前年にも増して増加傾向にあることから、特に特殊詐欺は電話を活用しての巧妙な犯罪であり、如何にして「電話」に出ないか？を周知徹底させる必要があり、高齢者等に対して「電話に出ない。」意識づけが重要です。毎月の「町警だより」を織り込み広告に依頼したほか「チラシ」を作成して警察署と当協会、自治会が協力してポスティングや郵送作戦を実施しました。

特にリフォーム詐欺、闇バイト、アポ電(携帯電話へ)痴漢防止等のチラシを作製配布(郵送)し、青パトによる広報活動を実施しました。

また、空き巣被害や自転車盗、ひったくり、痴漢被害等に対する対策として毎月３日・２０日に地域ごとに時間、場所等を指定し青パト広報活動を実施しました。

例年、開催していた「全国地域安全運動」期間中における「町田市民のつどい」を自粛し、新しい試みとして「ＪＲ町田駅」から「小田急町田駅」に通じるペデストリアンデッキ上の街頭モニターを活用し、年間を通じて防犯意識の高揚を図るため効果的なサイネージ広報を町田まちづくり公社に委託して街頭活動を実施ました。(５月、６月実施)

主な活動

○ 青パトによる広報活動 （４月～３月） 年間を通じた活動
○ リフォーム詐欺 (5/13～6/2) サイネージ広報委託
○ 町警だよりの新聞折り込み、ポスティングの実施
○ 痴漢防止 (6/3～6/16) サイネージ広報委託
○ チラシの作成 (全国地域安全活動期間中) ９月中
○ 青パト出動式 （１０月１１日） １０団体参加
○ 青パト広報 (11、13、15、17、18、20) １８日は合同パトロール(青年部・・各３名)
○ 町田駅周辺年末特別警戒パトロール(１２月２２日) 町田市、相模原市、町田署、相模原南署、ＪＲ、小田急、各協力団体等
○ 年末一斉警戒パトロール （１２月２７日） 青年部、中央商店会・・・カリヨン広場
○ 年末警戒の激励 （１２月２７日） 警戒中の町内会、自治会への町田警察署長、防犯協会長等の激励

町田市を挙げての行事「町田駅周辺年末特別警戒パトロール」へは、会長以下、原町田第一支部、青年部の会員が参加し「安全安心な街づくり」合同パトロールを実施しました。

購入した「自動通話録音器」を必要とする家庭へは、町田警察署で対応し必要な家庭を優先して貸出しを行っています。

厳しい犯罪発生の環境下にありますが、町田市民が何を求めているかを常に考え「安全安心な街」を目指して、町田警察署の指導を仰ぎながら地域安全活動に取り組んで参ります。

今後も町田市の支援を頂きながら、町田市民の為に防犯活動を推進致します。

令和７年３月３１日現在　会員数計３２４名(内特別会員１５１名)

	会議・諸活動等の実施
毎月	毎月３日と２０日を「防犯広報日」とし、犯罪の多い地域、アポ電の入電が多発する地域を重点に「青パト」による広報活動を実施 チラシのポスティングや「広報誌」「機関誌」「町警だより」等を活用した広報・啓発活動を実施
４月	１２日　会計監査 １８日　拡大役員会（町田フォーラム・・・会長以下役員） ２３日　東防連事務局長等連絡会議(グランドアーク半蔵門) ３０日　定期総会用ハガキ発出
５月	７日　総会資料（議案書）印刷へ １６日　東防連第１回通常理事会（会長） ２８日　青パト(軽自動車の減免申請) ３０日　令和６年度定期総会、懇親会（町田商工会議所・レンブラント） ３１日　防犯功労表彰式(警視庁本部)
６月	５日　東防連臨時理事会(グランドアーク半蔵門)・・・会長出席 ２１日　第１回合同支部長会議（町田フォーラム）
７月	９日　防犯功労表彰伝達式（町田警察署講堂）・・・会長出席 １９日　町田駅周辺治安対策協議会(町田市庁舎)・・・会長出席 ２９日　第７２回少年柔剣道錬成大会（日本武道館）・・・会長出席
８月	２１日　現署長への挨拶(会長) ２６日　町田警察署長交代（江口博行様）・・・企画課対策官から ３０日　新署長への挨拶（会長）
９月	４日　防犯協会長全体会議（グランドアーク半蔵門）・・・会長出席 ８日　ザ・フェスタ栄通り・・・会長出席 １１日　人事異動(町田署防犯係)・・・岡村、高柳、飯山、川村異動 １２日　町田駅周辺治安対策協議会(町田市庁舎)・・・会長出席 ３０日　役員会（町田フォーラム）・・・会長以下役員出席
１０月	１１日　～　２０日まで全国地域安全運動 １１日　青パト出動式・・・会長、内田、鈴木、福士出席 １３日　青パト（一石、鈴木、斎藤）　１５日青パト（福士、道地、三橋） １７日　青パト（鈴木、廣木、岩崎）１８日青パト（一石、鈴木、高橋） ２０日　青パト（道地、藤野、新井） ２５日　町田市戦没者追悼式(市民ホール)・・・会長出席
１１月	１１日　町田駅周辺治安対策協議会（市庁舎）・・会長出席 １３日　拡大役員会（町田フォーラム）・・・会長、役員出席 (町田警察署へ警視総監・・・初巡視) ２０日　青パト防犯広報活動（中止）

１２ 月	５日　東防連企画調査委員会（法曹会館）会長出席 ２０日　歳末都県境合同パトロール（町田バスターミナル広場） 町田市長、相模原市長、町田警察署長、相模原南警察署長 JR 町田駅長、小田急町田駅長、町田自治連会長、山下会長 信田副会長、青年部内田部長ほか４名・・・参加 ２７日　夜警パトロール、町内会、自治会等の夜警場所への激励 ・山下会長(署長)　・渋谷副会長(副署長)　・上原副会長(生安課長) ※　３組で町内会、自治会の夜警実施場所１０箇所への激励 ※　歳末警戒パトロール(カリヨン広場)内田部長ほか青年部の参加 (町田中央商店街をパトロール実施)
１ 月	７日　町田商工会議所賀詞交歓会（レンブラントホテル）・・・会長出席 ９日　町田青年会議所賀詞交歓会（レンブラントホテル）・・・会長出席 １２日　町田消防団出初式(町田芝ヒロ)・・・会長出席 １９日　町田警察署武道始（町田署道場）・・・会長ほか役員等出席 ２０日　第９方面本部武道始（多摩総合庁舎）・・・会長出席 ２２日　東防連第２回理事会、事業報告会、懇親会（グランドアーク半蔵門） ・・・会長出席 ２２日　町田市警備業協議会賀詞交歓会（レンブラントホテル） ・・・信田副会長出席
２ 月	１６日　町田駅周辺防犯対策連携会議（第２回）市役所庁舎 ・会長（防犯協会）・信田副会長（中央商店会） ２６日　町田市生活安全協議会（市役所庁舎）・・・会長出席 ２６日　第３回役員会(町田フォーラム、第２学習室Ａ)・・・役員出席 (内規改正の審議、定期総会資料の検討)
３ 月	３日　青パト防犯広報活動（玉川学園、つくし野地区） １５日　町田駅周辺防犯対策連携会議・・・会長、信田副会長 ※　条例制定への会議 ２０日　青パト防犯広報活動（町田駅周辺・・・自転車盗の対策）

第2号議案

令和6年度決算報告書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)　(単位:円)

収入				金額		
	項目			当期予算額	決算額	増減
収入の部	会費	一般会員会費	一般会員会費収入	561,000	513,000	▲ 48,000
		特別会員会費	特別会員会費収入	1,915,000	1,860,000	▲ 55,000
		その他	諸行事会費	－	0	0
		合計		2,476,000	2,373,000	▲ 103,000
	市補助金	市補助金	町田市補助金	687,000	687,000	0
		合計		687,000	687,000	0
	その他	その他収入	地域安全運動他協賛金	300,000	300,000	0
			寄付金	－	33,480	33,480
			雑収入(自販機分配金)	－	28,630	28,630
			受取利息	－	204	204
			祝金(総会祝金)	－	52,000	52,000
			借入金	－	0	0
		合計		300,000	414,314	114,314
	繰越金	前年度繰越金		497,633	497,633	0
総合計				3,960,633	3,971,947	11,314

令和6年度決算報告書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:円)

支出					
項目		金額			摘要
		当期予算額	決算額	増減	
一般支出の部	機関誌発行費	960,000	940,016	▲ 19,984	
	広報宣伝費	100,000	118,800	18,800	
	防犯活動費	800,000	386,727	▲ 413,273	
	会議費	50,000	48,390	▲ 1,610	
	表彰費	60,000	30,470	▲ 29,530	
	人件費	1,064,000	1,064,000	0	
	修繕費	－	0	0	
	通信費	200,000	255,040	55,040	チラシ、資料の送付が多かった。
	消耗品費	120,000	417,488	297,488	パソコン破損で新規購入
	慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
	渉外費	30,000	29,698	▲ 302	
	東防連分担費	120,000	120,000	0	
	広報車管理費	200,000	176,420	▲ 23,580	
	ビル防犯費	10,000	0	▲ 10,000	
	旅費・交通費	65,000	61,600	▲ 3,400	
	雑費(銀行等手数料	35,000	33,993	▲ 1,007	
	予備費	116,633	0	▲ 116,633	
	合　計	3,960,633	3,682,642	▲ 277,991	
積立金	記念行事積立金	－	0	0	
	合　計	－	0	0	
借入金	借入金返済	－	0	0	
次年度繰越金		－	289,305	289,305	
総合計		3,960,633	3,971,947	11,314	

決算残高内訳書

令和６年３月３１日現在

１　一般会計の部

収入の部合計	支出の部合計	残　　高
３，９７１，９４７円 ※	３，６８２，６４２円	２８９，３０５円

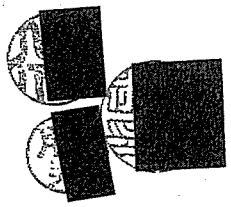
※印は、前年度繰越金　４９７，６３３円を含む

２　残高内訳

内　　訳	金　　額
きらぼし銀行町田支店	４７，４６８円
三井住友銀行町田支店	１５，２３７円
みずほ銀行町田北口支店	２０６，０８５円
東京貯金局振替口座	２４，６５１円
現金（手許有高） 未払金（会費二重払分の要返還額）	１１，８６４円 △１６，０００円
総　合　計	２８９，３０５円

上記の通り収支決算致しました。
令和７年３月３１日

町田防犯協会
会　長　　山　下　幸　光
会　計　　小　林　　進
会　計　　勝　永　雅　紀



以上監査の結果、収支適正であることを認めます。

町田防犯協会

令和７年４月２８日

会計監査　五十子　良　二
会計監査　石　川　勝　長

町　田　防　犯　協　会

会　長　山　下　幸　光　殿

会　計　監　査　報　告　書

町田防犯協会「令和６年度収支決算書」に基づき
会計監査を行なった結果、適切なものと認める。

令和７年４月28日

会計監査　　五十子良二

会計監査　　石川　勝長

第３号議案

令和７年度事業計画(案)

月　別	行　　事	細　　目
４　月	１　会計監査（21 日） ２　金融機関対策 ３　防犯対策の実施 （特殊詐欺、万引き） ４　役員会（第１回）14 日 ５　実働部役員会	１　決算、予算、事業計画の審議 ２　特殊詐欺撲滅キャンペーン ３　ボランティア防犯活動の日（毎月３日） 地域安全活動の日（毎月 20 日） ４　定期総会資料の最終審議 ５　活動方針の検討
５　月	１　フェスタ町田(5 月 11 日) ２　侵入盗、自転車盗、万引き 防犯対策の推進 ３　薬物乱用防止推進協議会 ４　社会を明るくする運動推進 ５　定期総会(5 月 29 日) ６　防犯功労者表彰式(本部)	１　広報活動(実働部) ２　青パトによる広報活動 （防犯広報） ３　対策会議 ４　街頭活動の実施 ５　定期総会・懇親会 ６　功労者への伝達
６　月	１　防犯対策の推進 ２　合同支部長会議 （第１回） ３　少年・風俗対策の強化推進 ４　実働部報告会 ５　防犯功労者への伝達(町田署)	１　侵入盗、自転車盗、万引き等の防止キャンペーン実施 ２　会費の集金活動を検討 ３　街頭活動の実施 ４　活動状況報告 ５　功労者の表彰
７　月	１　薬物乱用根絶地区協議会 ２　盛り場地区対策の推進 ３　広報活動の推進	１　街頭活動の実施 ２　官民合同パレードの実施 ３　青パトによる防犯広報
８　月	１　駅周辺環境浄化パトロール ２　金融機関対策強化 ３　青少年の非行防止	１　盛り場地区を重点としたパトロールを実施 ２　金融機関前でのキャンペーン実施 ３　青パトによる広報活動と街頭補導の実施
９　月	１　地区防犯協会長全体会議 ２　町内会・自治会長連絡会議 ３　合同支部長会議 （第２回） ４　特殊詐欺対策の強化 ５　青パト広報活動 ６　ビル防犯連絡会議	１　「全国地域安全運動」推進対策会議 ２　防犯広報紙の発行 ３　地域安全運動進め方の検討 ４　街頭による呼びかけ(広報) ５　特殊詐欺撲滅の広報活動 ６　連絡会議の実施

１０月	1　全国地域安全運動の推進 （11日～20日まで） 2　特殊詐欺対策の強化 3　侵入盗対策の推進	1　行事は別途、計画 2　防犯対策資料の配布と青パト広報 （青パトによる広報活動） 3　街頭イベントの実施
１１月	1　合同支部長会議 （第３回） 2　「年末特別警戒」活動の準備 3　地域安全活動の推進 4　防犯広報・啓発活動の推進	1　防犯対策推進会議開催 2　年末防犯対策会議開催 3　地元行事等での活動 4　青パトによる防犯広報の実施
１２月	1　「年末・年始特別警戒」活動の推進 2　金融機関対策強化 3　繁華街・盛り場対策の推進 4　町内会・自治会への激励	1　防犯広報チラシ配布. （金融機関、スーパー等） 2　年末特別警戒防犯広報の実施 (町田駅周辺・都県境との合同) 3　繁華街防犯パトロールの実施 4　夜警実施場所における激励(28日)
１　月	1　防犯対策の推進 2　自転車盗・万引き対策	1　地域安全の日に各種防犯活動を実施 2　鍵かけ、声かけ運動の実施
２　月	1　特殊詐欺対策の推進 2　金融機関対策強化 3　役員会（第２回）	1　青パトによる防犯広報 （街頭でのチラシ配布） 2　金融機関周辺でのキャンペーン実施 3　新年度の事業計画の審議
３　月	1　薬物乱用防止推進協議会 2　役員会（第３回） 3　会計監査・定期総会の準備 4　青少年犯罪の防止	1　防犯広報紙の発行配布 2　新年度の事業計画作成 3　年度決算と新年度の予算建て 4　青パト広報による啓発活動の実施

◎ 本年度の事業計画について

昨年実施していない「町田防犯のつどい」については、本年度は、実施する方向で、検討中です。

第4号議案

令和7年度予算(案)(令和7年4月1日～令和8年3月31日)　(単位:円)

収入					
	項目			金額	
				前年度決算額	当期予算額
収入の部	会費	一般会員会費	一般会員会費収入	513,000	513,000
		特別会員会費	特別会員会費収入	1,860,000	1,860,000
		その他	諸行事会費	-	0
		合計		2,373,000	2,373,000
	市補助金	市補助金	町田市補助金	687,000	687,000
		合計		687,000	687,000
	その他	その他収入	地域安全運動他協賛金	300,000	300,000
			寄付金	33,480	0
			雑収入(自販機分配金)	28,630	0
			受取利息	204	0
			祝金	52,000	0
			借入金		0
		合計		414,314	300,000
	繰越金	前年度繰越金		497,633	289,305
総合計				3,971,947	3,649,305

令和7年度予算(案)(令和7年4月1日～令和8年3月31日)　(単位:円)

支出				
項目		金額		摘要
		前年度決算額	当期予算額	
一般支出の部	機関誌発行費	940,016	960,000	
	広報宣伝費	118,800	100,000	
	防犯活動費	386,727	500,000	
	会議費	48,390	50,000	
	表彰費	30,470	40,000	
	人件費	1,064,000	1,064,000	
	修繕費	0	－	
	通信費	255,040	200,000	
	消耗品費	417,488	220,000	
	慶弔費	0	20,000	
	渉外費	29,698	30,000	
	東防連分担費	120,000	120,000	
	広報車管理費	176,420	100,000	
	ビル防犯費	0	10,000	
	旅費・交通費	61,600	65,000	
	雑費(郵貯手数料)	33,993	35,000	
	予備費	0	135,305	懸垂幕購入要望分
	合　計	3,682,642	3,649,305	
積立金	記念行事積立金	0	－	
	合　計	0	－	
借入金	借入金返済	0	－	
次年度繰越金		289,305		
総合計		3,971,947	3,649,305	

第５号議案

町田防犯協会内規の改正について(案)は、別紙のとおりです。

改正の部分については、赤字にて訂正及び一部書き加えがあります。

領　収　書　等　貼　付　用　紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000　円	備考	

領　収　書

三遊亭らん丈　様

￥２，０００－

但し、令和７年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和 7 年 6 月 12 日　上記の金額正に領収いたしました

住　所　神奈川県相模原市中央区中央２丁目１１番１５号
氏　名　小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会　長　中　村　昌　治　[redacted]

3-1

※ 領収書は重ねて貼付しない。
※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

令和７年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総　　会

日　時　　令和７年８月８日（金）

午後５時００分から

会　場　　愛川町 文化会館　ホール

4－1

領　収　書

石川　好忠　様

￥２，０００－

但し、令和７年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和7 年 6 月12 日　上記の金額正に領収いたしました

住　所　神奈川県相模原市中央区中央２丁目１１番１５号
氏　名　小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会　長　中　村　昌　治 [redacted]

領収書等貼付用紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000 円	備考

令和７年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総　会

日　時　　令和７年８月８日（金）

午後５時００分から

会　場　　愛川町 文化会館　ホール

領　収　書　等　貼　付　用　紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000　円	備考	

5-1

領　収　書

町田市議会
自由民主党会派
加藤　真彦　様

¥2,000－

但し、令和７年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和7年6月12日　上記の金額正に領収いたしました

住　所　神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号
氏　名　小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会　長　中　村　昌　浩

令和７年度
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
総　会

日　時　　令和７年８月８日（金）

午後５時００分から

会　場　　愛川町 文化会館　ホール